

7月29日(月)

13:53 に二本松駅から成田空港へ向けて生徒 15 名、教員 2 名がたくさんの保護者や教員に見送られ、無事に出発しました。日本航空 771 便でシドニーへ無事飛び立ちました。

7月30日(火)

約 9 時間 30 分のフライトで 6 時にシドニーへ降り立ちました。酷暑の日本との気温の違いに驚きました。バスで 350 キロも南のナルーマへ。道中長かったですが、豊かな自然に魅了されながら移動しました。13:30 頃に、Narooma High School に到着。Welcome 横断幕とともに、生徒の皆さんのあたたかい歓迎を受けました。海に近い町なので、Fish and Chips がとてもおいしく、生徒達も大変喜んでいました。これからお世話になるバディとの対面。プレゼントもたくさんいただきました。午後にはバディの授業と一緒に参加したり、校内見学をしました。広い敷地に校舎が点在する学校なので、生徒があちらこちらを案内してくれました。農場、工業実習室、ラグビー場などもありました。宝探しで現地のお菓子を食べながら楽しく見学することができました。15:30 には、バディとともにスクールバスに乗り、大きな期待と小さな不安をもってホストファミリーの家へ向かいました。



迎を受けました。海に近い町なので、Fish and Chips がとてもおいしく、生徒達も大変喜んでいました。これからお世話になるバディとの対面。プレゼントもたくさんいただきました。午後にはバディの授業と一緒に参加したり、校内見学をしました。広い敷地に校舎が点在する学校なので、生徒があちらこちらを案内してくれました。農場、工業実習室、ラグビー場などもありました。宝探しで現地のお菓子を食べながら楽しく見学することができました。15:30 には、バディとともにスクールバスに乗り、大きな期待と小さな不安をもってホストファミリーの家へ向かいました。

7月31日(水)

8:30 頃スクールバスで学校へ。地元のスーパーの寄付による朝ご飯を学校で食べてから、授業に向かう現地の生徒もいました。午前中は 4 コマで、途中 10 時半から 20 分間、リセスという休憩時間があり、戸外で思い思いにおやつを食べたり、おしゃべりをしたり、中にはボール遊びをする男子生徒もいました。



ランチの後、午後は 2 コマ授業があり、15:30 頃には終了、放課となります。放課後、部活等はなく、基本的に下校します。

本校生はこの日から英語レッスンを開始しました。日本の地図や 50 音表の貼ってある、日本語授業で使用する教室で、自己紹介やゲームなどを通して、みんなの緊張を解いてくれました。生徒達は英語を聞き取ろうと努力し、緊張しつつもコミュニケーションを図ろうとしていました。アボリジニについても、歴史、言語、文化を学びました。特に、楽器などを実際手にし、男子生徒は実際に演奏に挑戦しました。生徒達はリセスやランチ時には、バディと一緒に過ごしました。午後の 2 コマはバディと一緒に各々、美術、数学、歴史、技術、日本語、音楽などのさまざま授業に参加し、現地校の雰囲気を感じました。積極的に意見する現地の生徒たちに驚いたようです。帰宅後はホームステイ先の住宅地で野生のカンガルーを目にした生徒や、海やスーパーへ連れて行ってもらった生徒もいたようです。

8月1日(木)、2日(金)

1日(木)は、午前中に実際に食材を食べながら味に関する表現を学んだり、動物に関するゲームなどをしながら授業をうけました。4コマ目からは、ファーム訪問を行い、素晴らしい自然の中 BBQ ランチを楽しみました。現地メディアの取



材も受けました。トラックの荷台に乗ったり、動物たちと触れ合ったり、農業国でもあるオーストラリアの一面を知ることができました。2日(金)は、学校生活の振り返りを行ったり、現地のドラマや映画を通して、現地の生活に触れたり、学校に近いビーチを散歩したりしました。クッキングクラスでは、初めてカンガルーの肉を食べ

ました。味は好き嫌いあったようです。午後は、日本の中1に当たる7年生に震災復興、福島観光・安達高の紹介などをパワーポイントでプレゼンしました。特に震災関連については、質問がいくつも出て、熱心に聞いてくれることが伝わりました。ハワイアンのウォータースライダーにも興味津々でした。日本文化紹介では、伝統的な日本の玩具(折り紙、剣玉、竹とんぼなど)遊び、書道、浴衣の着付けなどを体験してもらいました。英語とジェスチャーを用いて、一生懸命説明していました。そして現地生徒も気持ちを集中させて剣玉をしたり、浴衣を着せてもらってはしゃいでいたり、喜んでいる様子が伝わりました。先生方からは、訪問の記念に、アボリジニのペイントや、メッセージスティックなどをいただきました。とても良い異文化交流となりました。

8月3日(土) 4日(日)

ホストファミリーと共に、バラエティーに富んだ内容の時間を過ごしました。ショッピング、ビーチ散策、動物園、クルージング、スポーツ鑑賞 etc…。4日(日)の夜にはお



別れパーティを開いていただきました。バディとホストファミリーが集い、食事をしました。校長先生から一人ひとり「研修修了書」をいただきました。それぞれ、ナルーマ高校での生活をやりきった満面の笑みでした。

8月5日(月)

朝、ホストファミリーとお別れ。別れに涙する現地生徒、本校生徒も多く、充実した日々であったことや良い関係を築けたことを物語っていました。皆さんに見送られ一路シドニーへ。昼食はビュッフェで好きなものを好きなだけ食べていました。ホテルに到着し、夕食は中華料理。昨日までののんびりしたナルーマとは違う、多様性に満ちた500万都市シドニーの魅力を感じました。

8月6日(火)



朝食後、シドニー大学にキャンパスツアーへ。建築学の教授の丁寧な英語の説明を受けながら、大学のmuseum所蔵のミイラや、発掘品を見学しました。オーストラリアの赤茶色の石造りの大学はまるで、ハリーポッターの世界に入り込んだようでした。

パイプオルガン、ステンドグラスのある講堂を見学し、歴史の重みを感じました。

落書きOKの壁にはそれぞれ思いのこもった落書きをしてきました。次にオーストラリア博物館で、アボリジニーのコーナーや恐竜・鉱物・野生生物の展示を見学しました。



国土も広く、太古の地層からなる大陸のため、豊かな先住民族文化があり、いろいろな生物がいたことがうかがえる展示に圧倒されました。

午後はオリンピックパークを見学し、再生可能エネルギーについて学びました。環境と共存する開発や、雨の少ない土地での水資源の貴重さ、リサイクル方法などについて学びました。2020年に行われる東京オリンピックについても、考えさせられました。夕食はダーリングハーバーのすばらしい夜景を見ながら、楽しみました。

8月7日(水)

今年度もシドニー市内の自主研修を行いました。グループに分かれ、終日シドニーを徒歩で、市内観光しました。昼食は、この研修で鍛えた英語力で好きなものをフードコートで注文したもようです。夜は、シドニー最後の夜にふさわしい、肉料理を堪能しました。

8月8日(木)

朝4:20にモーニングコールで起こされ、眠い目をこすりつつホテルを後にし、17:00に無事成田空港に着陸。二本松には23:00に着きました。11日間、お天気に恵まれ、オーストラリアの親切でフレンドリーな方々に恵まれ、とても良い研修となりました。

【次年度へ向けて】

今年度も語学研修を現地の学校で行いました。これは異文化交流において大変有意義な内容となりました。福島県の現状プレゼン、日本文化紹介、現地生徒と一緒に授業など実際に交流する場面が多く、良い機会でした。またホームステイも受け入れ先がよくなってくれる家庭ばかりで、生徒の顔は毎日笑顔でした。また、今年度は生徒1人1家庭で、バディの家庭に滞在できました。英語を使う機会も多く、関係も深まり、生徒達にとっては大変実り多い海外研修になったと思います。次年度も現地校との交流を踏まえた研修カリキュラムが望ましいと考えます。